

47 週 新約の礼典と洗礼

質問 93. 新約の礼典は、何ですか。

答え I 新約の礼典は、洗礼と主の聖餐です。

質問 94. 洗礼とは、何ですか。

答え I 洗礼とは、ひとつの礼典です。この儀式において、父と子と聖霊の御名によって水で洗うことが、私たちがキリストにつぎ木され、恵み契約のすべての有益に加わり、主の所有とされたことを意味し、確証することです。

質問 95. 洗礼は、どういう人に施しますか。

答え I 洗礼は、見える教会の外にいる人には施してはならない、キリストを信じ、その方に従順することを告白する時に施します。しかし、見える教会の会員である者の幼児には、洗礼を施すことができます。

解説

旧約の礼典

旧約には色んな礼典がありました。まだ罪が世に入って来る以前のエデンの

園に、命の木と善悪を知るようにさせる木がありました（創2:9）。その木らは、神の恵みと命令を思い起こさせるものでした。命の木を見ながら、その実を食べれば永遠の命の中にいることを悟らせました。神の前に従順する限り命の実は、いつでも食べられるものでした。一方、善悪の木を見ながら、神が下さった戒めを考えるようにさせました。従順するように挑戦を与えるものでした。従ってこれらは、礼典に該当されます。

新約の礼典と、更に近く一致する旧約の礼典は、割礼と過越祭です。旧約の割礼は、古い人を切り取ってしまうという意味を持っています。もう契約の民となったので、それ以上、古い人の中で生きることをせず、新しい人として生きることがを意味します（ガラテヤ3:27、29、コロサイ2:11-12）。過越祭の犠牲のいけにえは、必ず、罪から贖われなければならないことと、キリストが、罪による神の審判をも、過ぎ超えさせてくださったことを見せています（マタイ26:26-29、Iコリント5:7）。

礼典が証しすること

キリストが犠牲のいけにえとなられ、完全な捧げとなられたことで、儀式がそれ以上有効にならなくなりました。その後は、福音が証されます。そのため恵み契約のしるしを、他の形態によって取られています。救いの計画は一つだから、その内容と目的は変わることはありません。旧約の割礼と過越祭、そして新約の洗礼と聖餐は、信仰によってなれた義を保証することです（ロマ4:11）。この礼典は両方とも、霊的変化の重要性を証しすることです（申10:16、30:6、ヨハネ3:5、Iコリント5:7-8）。この礼典に参加する者は、必ず、キリストに対する信仰がなければなりません。

新約の礼典

新約の礼典と言える洗礼と聖餐は、旧約の礼典の形態と異なります。旧約では血を振りかけることが、新約では、キリストの犠牲によって、その血の効果を見せてくれます。それで私たちは、キリストが贖いの捧げとして成就させたことを、礼典を通して記憶するのです。割礼や過越祭には両方とも血がありました。キリストが直接流した血の効力を、新約では、礼典を通して見せているのです。それで新約の礼典は、私たちに、永遠の命を見るようにさせてくれます。

水によって施される洗礼

洗礼に定められた要素は水です。聖書において水は、力を意味したりもして（詩 42:7）、豊かさと対価を求めずに与えもの（詩 65:9、イザヤ 55:1）、そして命（イザヤ 44:3）を意味します。水に参加することは、新しくされることを語ります（マタイ 10:42、黙 21:6）。ところが水を人間に適用する時は、いつも綺麗にすることを意味します。体を洗うこと、儀式を通してきよめられることと、霊的に聖潔にされることです（使徒 22:16、黙 1:5）。従って信者に適用する時には、聖霊による新生、また聖くなれることを表わします（ヨハネ 3:5、ロマ 6:4、テトス 3:5）。洗礼を受けようとする者は、必ず、霊的変化の必要性について告白すること、またキリストが保護してくださることに対する、渴望と、その方の恵みあふれる約束に対する、信仰がなければなりません。

洗礼が見せてくれるのは、罪から清くさせるという、キリストの贖いの効果です。ユダヤ人は、個人的に自分の手と足に水を注いで洗いました（Ⅱ列王 3:11）。あらゆる清め儀式では水を注ぎました（ヘブル 9:13、出 30:18-19）。それは、聖くさせること、また新生を示します（エゼキエル 36:25-27、Ⅰヨハネ 1:7）。

三位の御名

洗礼は、三位の神の位格との結合を現します。聖書は、イスラエルが紅海を渡ったことを、モーセにつくバプテスマを受けたことと語ります(Ⅰコリント 10:2)。バプテスマ・ヨハネの洗礼は、ヨハネの弟子になることでした(ヨハネ 4:1)。バプテスマ・ヨハネの弟子たちは、キリスト者になるために、もう一度、洗礼を受けようしました(使徒 19:3-5)。コリント教会は、パウロ、ケパ、アポロにつく洗礼として理解していました(Ⅰコリント 1:12-16)。

キリスト者の洗礼は、三位の神の御名によって受けることです。神が私たちの父となり、キリストが私たちの救い主となり、聖霊は、私たちが聖くさせる方と信じて受けるのです。

キリストにつぎ木される

洗礼は、キリストにつぎ木されることを示します。私たちはキリストと結合して命をいただくことです(ヨハネ 15:5、ロマ 11:17)。聖霊は、恵み契約によるあらゆる有益らを私たちに伝達させてくれます(使徒 2:38-39)。洗礼は、キリストによって救われた者たちが、キリストに結合されたことを証します(Ⅰコリント 12:13-26)。それで洗礼を「教会に介入する儀式」とも呼びます。これから公に公開的に契約の中にいることを見せてくれることです。キリストとの結合は、主の所有となれたことを意味します。それで、これからはキリストのために生き(ピリピ 1:21)、キリストの御心を行う者となり、その方の聖徒たちを愛さなければならないことです(Ⅰコリント 12:13)。

信仰告白

洗礼を受けるためには、信仰告白と従順の証拠がなければなりません(使徒

8:36)。それゆえ、洗礼の候補者は必ず、自分が真理を理解していて、それに従って生きていることを見せなければなりません。信仰告白においても、三位の神について、特に、贖いの働きについて説明できなければならない、新生の必要性について話さなければならない、また救いの効果を説明できるようになることです。そして父なる神によって子となれたこと、キリストの血潮による贖いと、聖霊による聖化を告白しなければならないのです。勿論、礼拝に休んではならない、自分を区別させて、神に捧げる生活があることです。このように信仰告白と、生活を通して証しすることで洗礼を受け、教会の会員となり、霊的特権を味わうようになれます。

幼児洗礼

幼児洗礼は、父母の信仰告白（使徒 16:15）を通して、幼児に施すことです。彼らを父母と同一視して、清められ、召されたことと見るのです（エペソ 6:1-4）。これはイエスさまが、子供たちも教会の会員となれるようにされたこと（マタイ 19:14、ルカ 18:16）を根拠にします。幼児が洗礼を受けることで、聖霊による清められる、新生の重要性を証します。